

# ご挨拶



人手不足、原材料価格の高騰、デジタル化や脱炭素化の動きなど、県内企業を取り巻く環境は厳しく、大きな変化の渦中にあります。

このような中、企業が持続的に成長発展していくためには、環境変化へ適応しつつ、将来を見据えた新技術・新製品の開発や生産性向上を図ることが重要となります。

福岡県工業技術センターは、ものづくり中小企業に最も身近で、現場の技術的課題に精通した公設試験研究機関として、「研究開発」、「人材育成」、「技術相談・試験分析」、「交流・連携」、「情報発信」の5つの基本業務により、企業の新技術・新製品の開発や生産性向上の取り組みを技術面から総合的に支援しています。

近年は、「高分子材料開発支援ラボ」、「ふくおか食品開発支援センター」、「家具試作・評価支援ラボ」、「デジタル化実証支援ラボ」の4つの支援拠点の整備に加え、新技術・新製品の開発に資する多くの機械設備等を新たに導入し、支援体制を拡充強化してきました。

また、幅広い県内企業の皆様に当センターの活動を知って頂くとともに、課題やニーズ等を調査し、より効果的な支援につなげるため、「コネクトグループ」を設置しました。

さらに、オンライン技術相談システムを強化して、より負担なくご相談できる体制を整備しました。

このたび、これらの支援業務を通じた成果等を整理し、令和7年度版「福岡県工業技術センター 概要と成果」を取りまとめました。概要部分では、各研究所が担当する技術分野や支援機能を掲載しておりますので、技術開発などを行う際に参考にして頂きたいと思います。

私ども福岡県工業技術センターは、「“創る”を“共に” 福岡の未来（あす）をひらく技術拠点」をキャッチフレーズに、県内企業1社1社の“創る”に寄り添い、“共に”課題解決に取り組んでいます。福岡の未来（あす）を創る活動を共に進めるため、当センターのご活用を心よりお待ちしております。

令和7年10月

福岡県工業技術センター 所長 野見山 修治